

緊急に対策の検討が必要な踏切 (カルテ踏切)

Table with 4 main columns: 緊急に対策の検討が必要な踏切 (カルテ踏切), カルテ基準, 解消, 新規追加, 今回公表, 未指定, 検討中 (指定済), 事業中 (指定済). Includes sub-tables for 'カルテ踏切' and 'カルテ基準'.

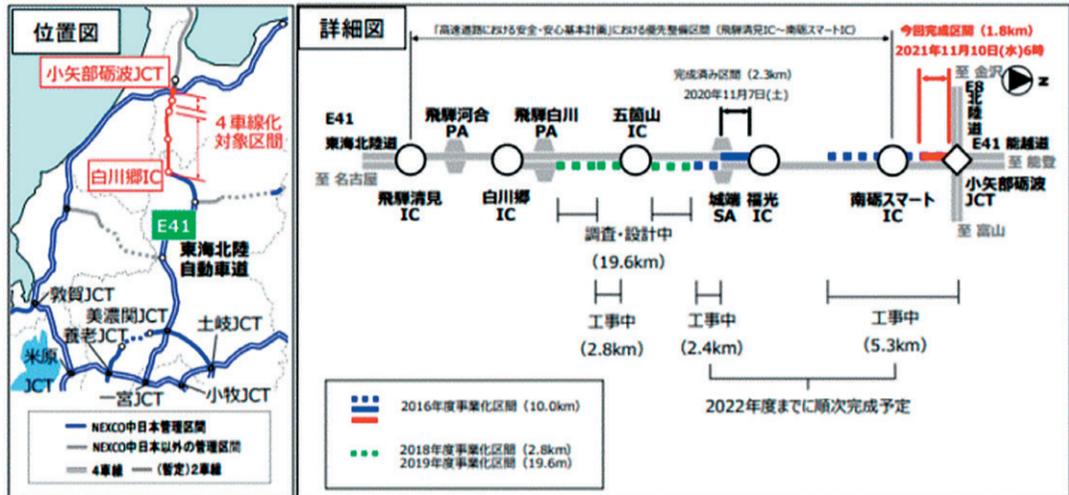
※カルテ基準別の箇所数は、重複している箇所があるため、各値の和とカルテ踏切の総数は一致しない。

国土交通省では、平成28年6月に開かずの踏切などの緊急に対策の検討が必要な踏切(カルテ踏切)1,479箇所について、平成28年479箇所について、踏切とりまとめた「踏切道安の諸元、交通量、事故発生状況、対策状況等を踏道事業者と道路管理者が連携し、対策の実施や踏切にお

踏切対策のPDCAサイクルの充実を図り、「見える化」を進める

- 〔カルテ掲載HP〕
〈北海道〉 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/tihou_seibi/ud49g70000002k0u.html
〈東北〉 http://www.thr.mlit.go.jp/road/fumikirianzen_new/kakutiseifumikiriTOP.html
〈関東〉 https://www.ktr.mlit.go.jp/road/shihon/index00000027.html
〈北陸〉 https://www.hrr.mlit.go.jp/road/fumikiri.html
〈中部〉 https://www.cbr.mlit.go.jp/road/humikiri/index.html
〈近畿〉 https://www.kkr.mlit.go.jp/road/sesaku/fumikiritaisaku.html
〈中国〉 http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/doyroj/fumikiri/index.html
〈四国〉 https://www.skr.mlit.go.jp/road/fumikiritaisaku/index.html
〈九州〉 http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/fumikirikarute/index.htm

る交通量、遮断時間、事故の減少により課題が解消された箇所がある。一方、鉄道とバリアフリー法に基づく特定道路とが交差している場合における移動等円滑化の促進の必要性が特に高い踏切を新たに追加するなど、結果、カルテ踏切は1,336箇所となり、今般、対策状況等をまとめた「踏切道安通行カルテ」を更新し、対策の進捗状況や取組の成果を「見える化」することで、更なる踏切対策の促進を図るとしている。



NECCOが日本が整備を進めてきた、東海北陸自動車道(南砺スマートIC)の一部が4車線化(南砺スマートIC~小矢部砺波JCT)の一部が4車線化

部で4車線化工事が完了した。なお、五箇山ICから小矢部砺波JCT間で残る工事区間については、令和4年度までに完成を予定している。
【運用開始日】令和3年11月10日(水)
【4車線化区間】東海北陸自動車道(南砺スマートIC~小矢部砺波JCT)の一部/1.8km
【整備効果】4車線化により対面通行が解消され、時間信頼性の向上、安全性やネットワーク信頼性の向上、機能強化による災害時のリダンダンシーの確保が期待される。

緊急のお知らせ
大雪による高速道路の通行止めが予測されています

命を守るため
車での不要不急の外出はお控えください



2021年度雪氷期における取組みの強化
〜早めの冬道装備の準備とお出かけ前の交通情報の確認を〜
NECCO日本は、令和3年1月9日(土)から大雪により、車両の滞留が発生し、長時間にわたる通行止めなど社会的に大きな影響を与えたため、大雪時の雪氷対策の見直しを行い強化を図るとしている。
大雪時の道路交通を確保するための具体的な対応として、「冬期道路交通確保対策検討委員会」において、大規模滞留車両が発生した事態を踏まえ、「大雪時の道路交通確保対策(中)間とりまとめ(平成30年5月)」を改定し、令和3年3月に短期間の集中的な大雪時の対応は基本的な考え方を見直し、従来の「出来るだけ通行止めをしない」「高速道路と並行する国道など」と交互に通行止めをして、道路ネットワーク機能を確保する「から」「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する」という考え方に転換するよう提言があった。
また、短期間の集中的な大雪により、国道などの同時通行止めを含む計画的・予防的な通行規制を実施するにあたっては、空振りとなることを恐れず、関係機関の協力を得つつ、テレビCMやポスター、デジタルサイネージなどで幅広く周知することや、高速道路の利用者、物流事業者や荷主に輸送のスケジュールやルートの変更の検討を繰り返し促す。
2. 高速道路と並行する国道などの同時通行止めを躊躇なく実施する(強化)
短期間の集中的な大雪により車両の滞留が見られる場合には、幹線道路上の大規模な車両滞留の回避を目的に、降雪前・降雪時・滞留発生時等の各段階の行動計画(タイムライン)を策定するなど、関係機関との更なる連携強化を図る。
3. 滞留状況を正確に把握するための体制を確保する(強化)
国が「大雪に関する緊急発表」を行うような異常降雪時には、複数箇所と同時に大規模な滞留が発生することも想定し、滞留状況把握のため専任の人員体制を確保し、あらかじめ現地へ応援人員(約1000〜1500人/箇所)の派遣を行う。また、スノーモービルなど(16台)を準備し、滞留状況の迅速な把握や利用者支援を強化する。
さらに大規模な滞留が発生し、長時間におよぶ可能性がある場合には、関係機関と連携し、飲料水や食料などの物資を適切に提供することにも必要に応じて避難所やホテルなどへの一時避難を支援する。
(2)ハード的対応
1. 大雪による滞留が発生した際の備えとして、ガソリン車への燃料補給に加え、EV車への充電対応など、事前に準備する(新規)
車両の滞留が発生した場合、滞留者の救出を速やかに行うことを目的に、エンジン流出部手前に簡易な規制装置(エア遮断機)6箇所や特設情報板(本線情報板補助対応)77箇所を試行導入する。
2. その他の対策を強化する(新規)
通行止めの際は本線規制までのタイムラグを解消し、通行困難な区間への流入車両をより早く抑制することを目的に、インターチェンジ流出部手前に簡易な規制装置(エア遮断機)6箇所や特設情報板(本線情報板補助対応)77箇所を試行導入する。

11月3日(水)から休日割引の適用を再開
東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社

Advertisement for EV charging services. Includes images of a portable EV charger and a charging station for an electric car. Text: 可搬式充電器の例, 電気自動車急速充電車の例